イスラ ムにおける非ムスリムの 利（3/13）： 人 としての尊 を保つ 利

：

明:非ムスリムのための人としての尊 を保つ 利、またその 史的先例と原 。

目: 事 代におけるイスラ ムとノンムスリム

より: IslamReligion.com（サ リフ アル＝ア イド博士による ）

日12 Nov 2012

集日 12 Nov 2012

神はムスリム 非ムスリムを わず、人 を尊 と共に 造し、彼らの地位を多くの 造物よりも高められました。神はクルア ンでこう述べられます。

“??”??????17?70?

誉のしるしとして、またその地位を高めるため、神は天使たちに し、人 の父であるアダムへ 虚に跪 するよう命じました。神はクルア ンの中でこう告げ知らせます。

“??”??????20?116?

神は人 に多くの恩 を授けられ、その中には明瞭なもの、また不明瞭なものがあります。例えば、彼は天地を人 の 誉のために 造しました。

***“??????????????

り、神は 者が自らの答えを きだすことによって真 を　させるのです。神はこの で が きにい、 がそうでないかについて述べているのではありません。この では　を提示し、傍 者に自ら判断させることによって「 想 」に公正な 遇を与えているのです。言 学者でありクルア ン解 学者でもあるアッ＝ザマフシャリ はこの点についての考えを 述します。

「これは公平な言 である。 であってもこれを くのであれば、支持者であれ反 者であれ、その言 が向けられた人物に し、 言者が公正な　をしたことを告げるであろう。それはの提示 、 が きに い、 が 信を犯しているのか、 き手を必然的な　へと くのである。もし　が解な 合は、事 の示唆をすることによって、真 の 得力ある 明を提供するだけでなく、激しい　に ることなく相手の 持ちを和らげることも出来るのである[2] 」

クルア ンにおいて用いられているこうした形式の例としては、ある人物が　において「神は が真 を述べ、 が嘘をついているのかお 通しである。」と 言するようなものです[3]。

また神は、ムスリムが非ムスリムによって崇 されている神々や偶像について中 することを禁じられています。そうすることによって唯一 真 の神が中 されないためです。同の例はいかなる 典、または世界宗教においても 出すことは困 でしょう。もしムスリムたちが多神教の神々を中 するのをその信者たちが いたのであれば、それは彼らがアッラ （唯一神の正式な名称）を中 することへとつながるでしょう。また、もしムスリムたちがそれらの神々を中 すると、多神教徒たちは彼らの 心をムスリムの心を つけることによって そうとするでしょう。そういった筋 きは双方の尊 に背いたものであり、相互の拒 や憎 に びつきます。神はクルア ンにおいて述べています。

***“??????????????

2 Zamakhshiri, *'Kashhaf,'* vol. 12, p. 226

3 Aayed, Saleh Hussain, 'Huquq Ghayr al-Muslimeen fi Bilad il-Islam,' p. 17

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/377

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。